



## 能登半島地震 正月を襲った衝撃と防災対応の記録 (道路・港湾・漁港関係等)





七尾市は、日本海に突き出た能登半島のほぼ中央に位置し、日本海を望む天然の良港として古代から栄え、古くから能登地域の政治・経済・文化の中心地として発展を続けてきました。

能登は、地域に根差した里山里海が集約された地域であり、平成23年に日本で初めて「能登の里山里海」として世界農業遺産に認定されました。

また、能登の人々にとって「祭り」は、豊漁や豊作を願って感謝する大切な行事として、古くから守られ、引き継がれています。

そのなかでも、七尾市には、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「青柏祭の曳山行事」や日本遺産に認定されているキリコ祭りの一つ「石崎奉燈祭」など、盛大かつ迫力のある祭礼があり、毎年多くの見物客を魅了しています。

また、観光地として、開湯1200年の「和倉温泉」、日本五大山城の一つ「七尾城跡」などがあり、毎年多くの観光客が七尾市を訪れています。

能登では、お祭り文化が根強い地域であり、七尾市では下記の「四大祭」が、盛大で迫力のある祭礼である。



## 【発生時刻】

令和6年1月1日(月)16時10分

## 【震源地】

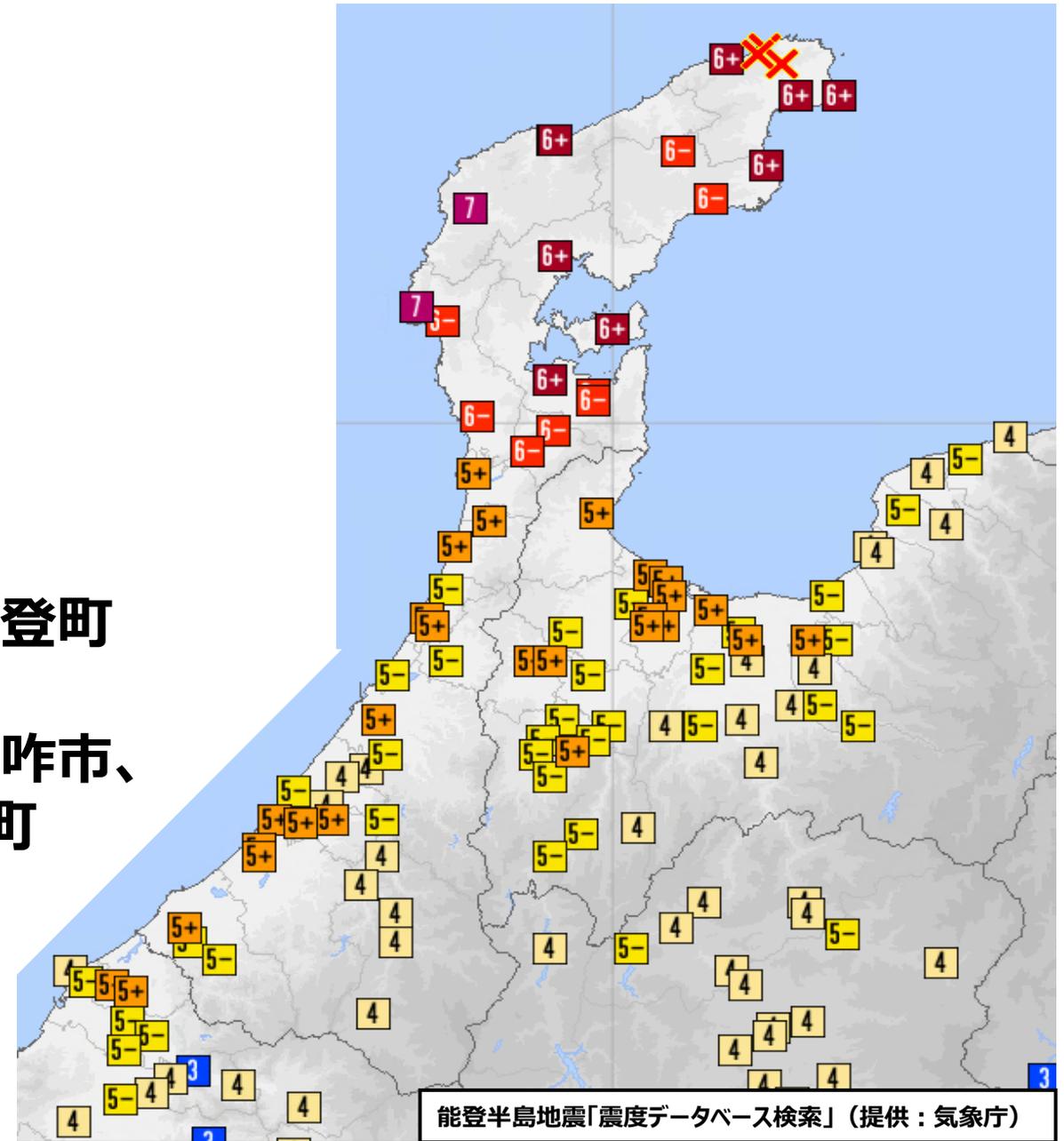
石川県能登地方（震源の深さ：16km）

## 【地震規模】

マグニチュード7.6（最大）

## 【県内震度】

- 震度7：志賀町、輪島市
- 震度6強：七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
- 震度6弱：中能登町
- 震度5強：金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
- 震度5弱：白山市、津幡町、内灘町
- 震度4：野々市市、川北町



## 【津波情報】

- ・1月1日 午後4時12分（地震発生から2分後）  
**津波警報** 発表（加賀、能登）
- ・1月1日 午後4時22分（津波警報発表から10分後）  
**大津波警報**に切替（能登）
- ・1月1日 午後8時30分  
**津波警報**に切替（能登）
- ・1月2日 午前1時15分  
津波注意報に切替（加賀、能登）
- ・1月2日 午前10時00分（地震発生から約18時間後）  
津波注意報 解除



大津波警報  
石川県能登

津波警報  
山形県 新潟県上中下越 佐渡 富山県  
石川県加賀 福井県 兵庫県北部

# 「令和6年能登半島地震」の概要（地震の発生回数）

令和6年1月1日以降の石川県内で観測した地震(最大震度)の震度別回数表（提供：気象庁）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
震度1	941	95	49	32	20	27	16	13	14	8	88	24	1327
震度2	395	34	17	9	6	5	3	4	4	6	41	12	536
震度3	159	12	4	4	2	1	1	1	0	0	5	1	190
震度4	45	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	50
震度5弱	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8
震度5強	<b>8</b>	0	0	0	0	<b>1</b>	0	0	0	0	0	0	9
震度6弱	<b>2</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
震度6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度7	<b>1</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	<b>1558</b>	144	70	45	28	35	20	18	18	14	136	37	<b>2123</b>

【発生時刻】	【地震規模】	【最大震度】
1月1日 16時06分	M5.5	5強（七尾市：3）
<b>1月1日 16時10分</b>	<b>M7.6</b>	<b>7（七尾市：6強）</b>
1月1日 16時12分	M5.7	6弱（七尾市：5弱）
1月1日 16時18分	M6.1	5強（七尾市：5弱）
1月1日 16時56分	M5.8	5強（七尾市：5弱）
1月1日 18時08分	M5.8	5強（七尾市：3）
1月2日 17時13分	M4.6	5強（七尾市：2）
1月3日 2時21分	M4.9	5強（七尾市：2）
1月3日 10時54分	M5.6	5強（七尾市：3）
1月6日 5時26分	M5.4	5強（七尾市：5弱）
1月6日 23時20分	M4.3	6弱（七尾市：2）



# 「令和6年能登半島地震」の概要（人的・建物被害）

## 令和6年能登半島地震による人的・建物被害の状況について【令和7年9月3日現在】

提供：石川県ホームページから

市町名	人的被害(人)						住家被害(棟)					非住家被害(棟)		
	死者	うち災害関連死※	行方不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小計	公共建物	その他
				重傷	軽傷									
金沢市	1	1			9	10	32	253	20382			20667		195
<b>七尾市</b>	<b>72</b>	<b>67</b>		<b>34</b>	<b>3</b>	<b>109</b>	<b>538</b>	<b>5088</b>	<b>11498</b>			<b>17124</b>	<b>14</b>	<b>5616</b>
小松市	1	1		1	1	3	1	80	11529			11610		62
輪島市	231	130	2	214	303	750	2311	3971	4352			10634	199	11709
珠洲市	181	84		48	202	431	1756	2108	1746			5610	71	6660
加賀市							14	54	7121			7189		
羽咋市	5	4			7	12	62	488	3440			3990	61	569
かほく市							9	248	3344			3601		237
白山市	1	1			2	3			1785			1785		
能美市				1		1	1	13	3137			3151	9	
野々市市					1	1			1524			1524		
川北町									69			69		
津幡町				2		2	9	83	3511			3603		44
内灘町	6	6		6		12	124	565	2337			3026	29	438
志賀町	23	21		19	97	139	562	2470	4419	6	5	7462	6	3982
宝達志水町							12	79	1790			1881		167
中能登町	3	3		5	1	9	56	909	3377			4342	1	1649
穴水町	53	33		33	225	311	387	1289	1647			3323	28	2475
能登町	76	74		33	25	134	293	1025	4502			5820	25	4210
計	653	425	2	396	876	1927	6167	18723	91510	6	5	116411	443	38013

### 七尾市詳細内訳

#### 全壊

→ 538件

#### 大規模半壊

→ 508件

#### 中規模半壊

→ 1,117件

#### 半壊

→ 3,463件

#### 準半壊

→ 3,767件

#### 一部損壊

→ 7,731件

#### 【合計】

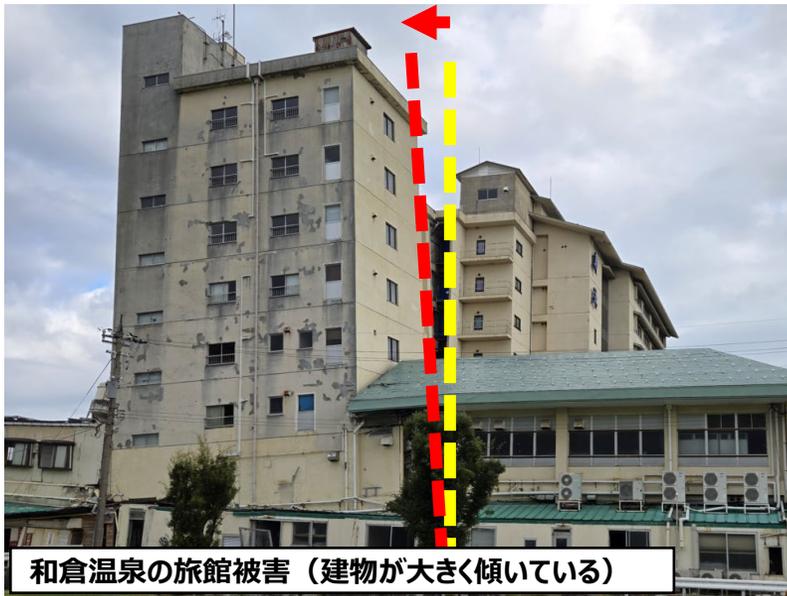
17,124件

※災害関連死は、審査待ちの申請がまだあり、今後も増えていくと思われる。

※住家被害の詳細内訳は、右点線枠内に記載。なお、非住家の被害については、半壊以上の件数となる。



護岸が崩れ、土のうで仮復旧



和倉温泉の旅館被害（建物が大きく傾いている）



市内で被害が大きかった地域（赤紙が貼られた家屋）



全壊した家屋



倒壊した家屋が道路をふさぎ通行不可となる



倒壊した家屋が自動車を押し潰し、さらに車道をふさいだ

【断水被害（七尾市）】（令和6年1月6日 12時現在）

七尾市の全21,779世帯のうち、断水世帯は**20,977世帯**で市内の**96%が断水**

【参考】 発災当初の県内断水状況

自治体名	最大断水（戸）	1/6現在（戸）
輪島市	約 10,000戸	約 10,000戸
珠洲市	約 4,800戸	約 4,800戸
志賀町	約 8,800戸	約 8,800戸
穴水町	約 3,200戸	約 3,200戸
能登町	約 6,200戸	約 6,200戸
羽咋市	約 7,700戸	約 3,046戸
かほく市	約 980戸	約 360戸
津幡町	約 15,000戸	約 200戸
内灘町	約 7,000戸	約 7,000戸
宝達志水町	約 3,300戸	約 100戸
中能登町	約 7,000戸	約 7,000戸
金沢市	約 1,000戸	約 200戸



市内に水を供給する施設が被害



地震の影響で配水管の継ぎ目が脱落した



支援物資による大量の飲料水



市内各地で給水車で住民に給水する様子

**R6.1.1 震度6強（七尾市）→ 大津波警報が発表**

正月休みで、初詣等で外出したり、実家帰省したりなど、職員にとっても完全休暇しているタイミングで、なおかつ、大津波警報によって、自分自身および家族の身の安全を確保するために避難していた職員も多くいた。さらに、余震が何度も続き、道路状況がかなり悪くなっていたこともあり、すぐに参集できた職員は3割ほど。

翌日の2日午前10時に津波に関する情報が全て解除されて以降、参集者が増えてきた。



津波情報が全て解除された1月2日以降は、全国各地の自治体や民間企業の方々から、毎日、大型トラックで10台以上の支援物資（飲料水や食料、毛布など）が数多く届けられ、あっという間に市役所1階フロアが支援物資でいっぱいとなりました。

想像以上の支援物資の量となり、収容できない状況にもなり、職員だけでは手が足らず、仕分け作業するだけでも大変な状況となりました。



正面入口に積みあがった支援物資



支援物資の荷下ろし作業をする職員



支援物資を求めて住民が市役所に押し寄せている



正面入口で支援物資の仕分け作業をする職員



自衛隊とともに支援物資の荷下ろし作業



支援物資を求めて住民が市役所に押し寄せている

## 最大避難者数（七尾市）

・避難者数=2,681人 ・避難所数=27カ所

【参考：県内の最大避難者数】

避難者数=34,173人 避難所数=364カ所

※自主避難所の避難者数は未計上自主避難者も含めると、**3,000人以上の住民が避難**

※避難所を集約、縮小を徐々に進め、9月8日に七尾市内の最後の避難所を閉鎖

★石川県内で広域的に避難できる「**2次避難所**」を県が設置

※県内270施設（最大7,322名分）、県外839施設（最大23,806名分）を確保

→ 多い時で**約5,000人**が2次避難所で生活（金沢市、小松市、加賀市などの旅館関係）

★また、石川県が主体となって避難所運営をする「**1.5次避難所**」を設置

→ 「いしかわ総合スポーツセンター」（金沢市）などに、**約1,500人**が避難



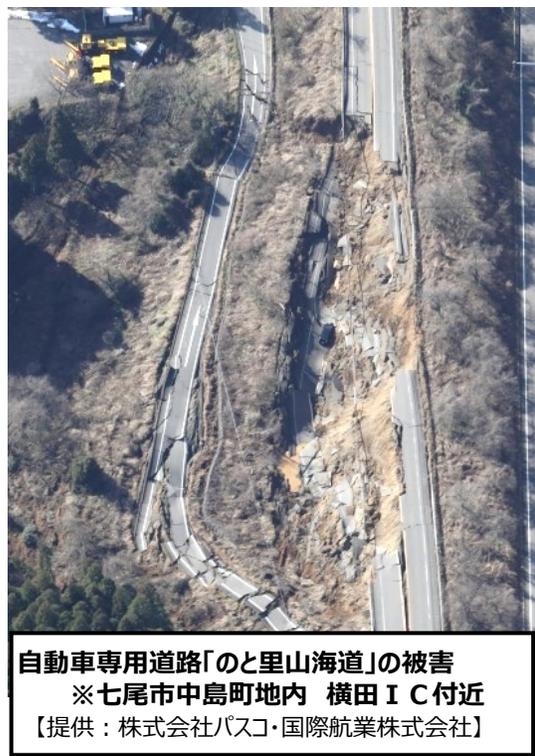
段ボールの間仕切り&ベッドが設置された避難スペース



避難スペースに間仕切りをしなかった避難所



様々な避難所情報が書かれた掲示板



- 最大42路線87箇所 で通行止め
  - 奥能登へのアクセスが 遮断
- ⇒ 奥能登全体が 孤立状態



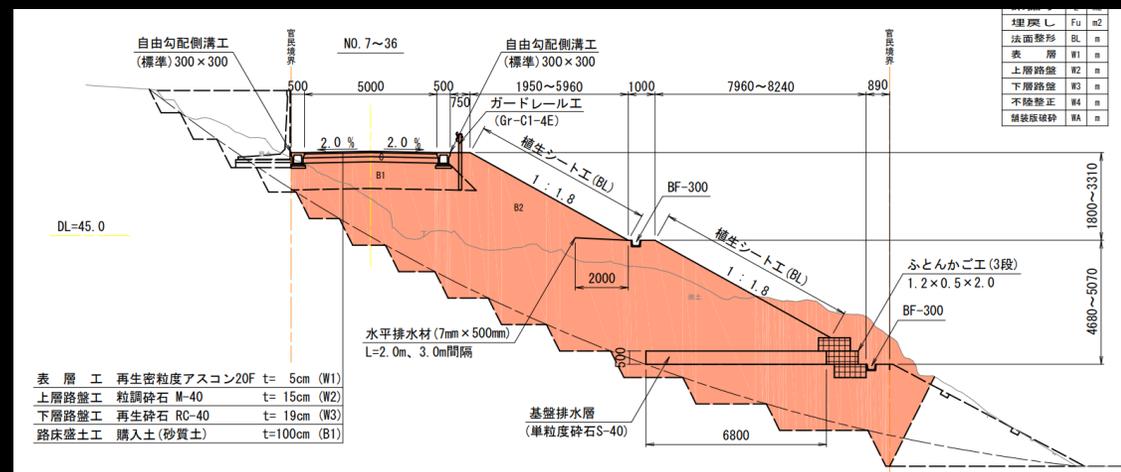
盛土箇所の崩落



盛土箇所の崩落



災害復旧工事完了





盛土箇所の崩落



軟弱地盤区域における大きな地割れの発生



液状化現象による破損（上水道）



液状化現象による破損（下水道）



下水道管路上の液状化による沈下 (応急前)



ダストを用いた応急工事 (完了)

# 「令和6年能登半島地震」の概要（道路応急工事③）



道路の崩落（応急前）



砕石を用いた応急工事（完了）



下水道管路上の沈下、マンホールの隆起  
(応急前)



砕石を用いた応急工事 (完了)



災害復旧工事完了

発災直後（沈下と大きな地割れが発生）



発災直後



災害復旧工事完了

○これまでの報告内容を踏まえて能登半島地震を振り返る：発災時期・状況による影響の考察

1. 発生時期が冬季であったこと → もし夏季に発生していた場合のリスク

- ・エアコンのない避難所生活 → 熱中症など健康被害の増加
- ・仮設トイレの利用増加 → 衛生環境悪化による感染症リスク
- ・入浴不可 → 衛生環境悪化

予測される結果→ 災害関連死の増加が懸念される



厳しい北陸の冬

2. 発生が1月1日（正月）であったこと → もし平日に発生していた場合のリスク

- ・正月は交通量が少ない → 平日なら道路損壊による交通事故多発
- ・正月は調理が少ない → 平日なら台所からの出火による火災多発

予測される結果→ 火災や交通事故件数の増加が懸念される



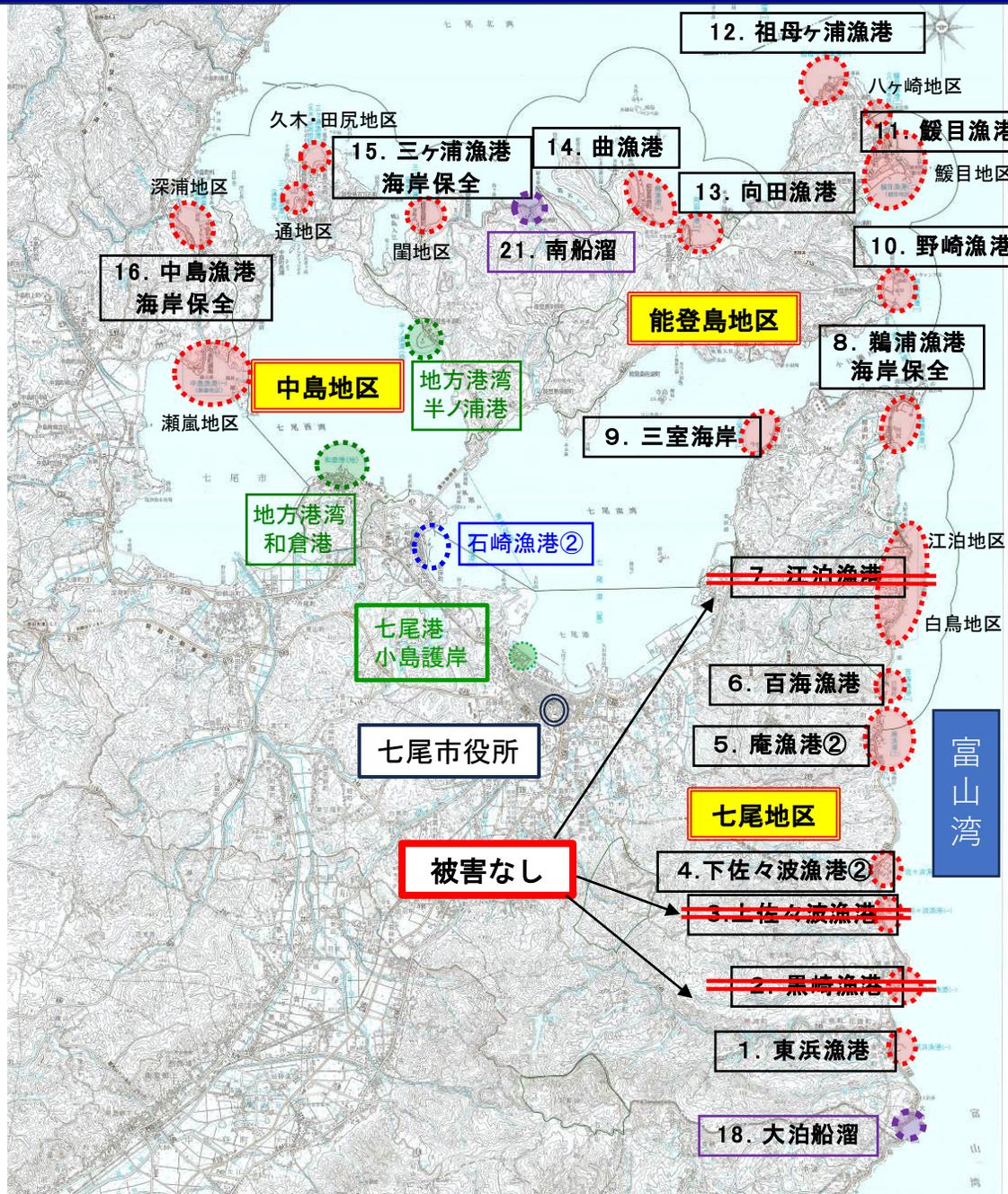
市内各所で道路に地割れ

3. 総合的な考察

災害はいつ発生するかわかりませんが、能登半島地震は「不幸中の幸い」と言える側面があります。発災時の条件（季節・時間帯）によって、被害規模や死者数は大きく変化する可能性があります。したがって、防災計画では多様なシナリオを想定することが重要と考えます。

# 「令和6年能登半島地震」の概要

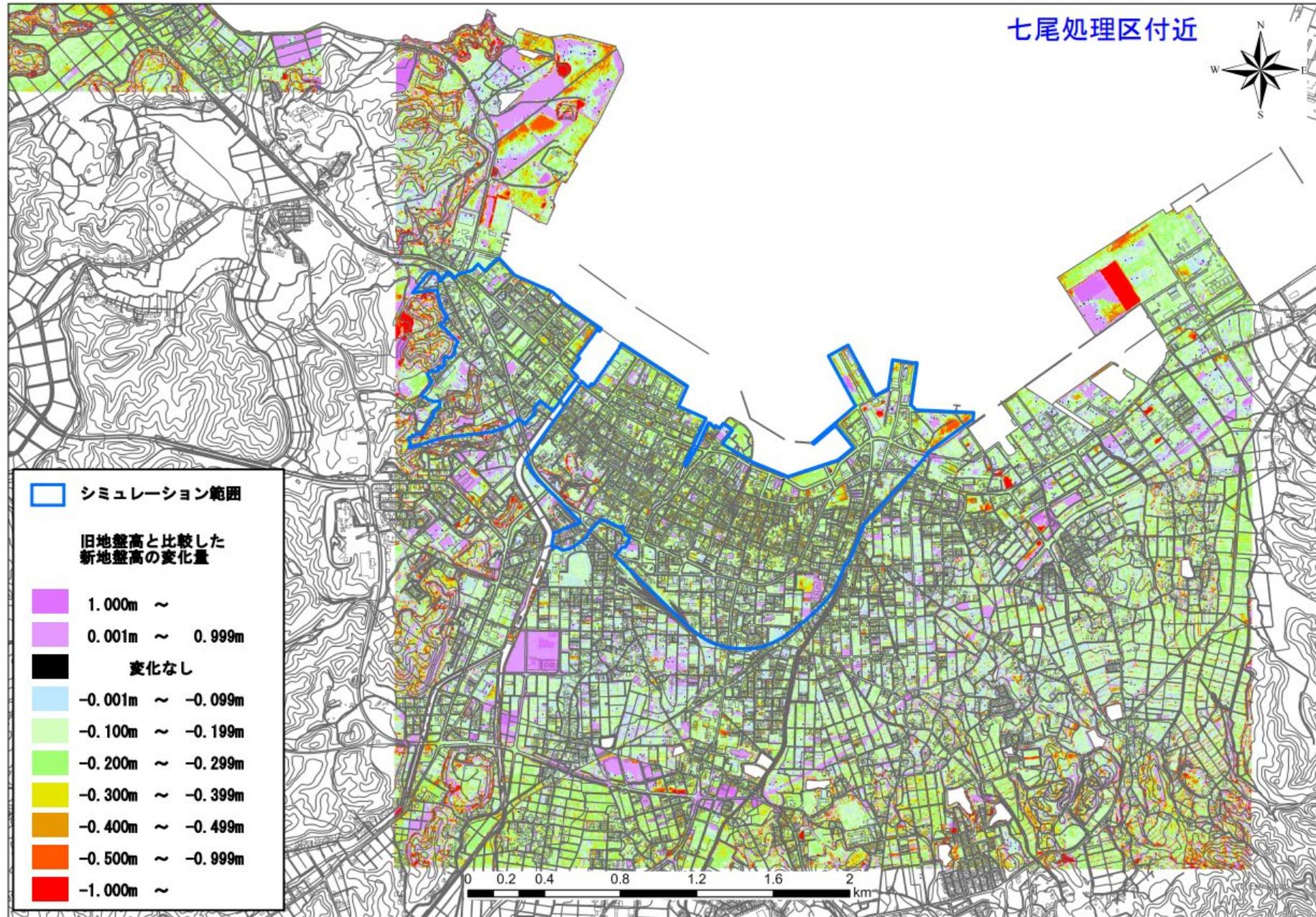
# (漁港・港湾位置図)



- 市管理漁港：16港
- 内、被災漁港：13港
- ★復旧完了：3港
- 市管理港湾：2港（地方港湾）
- 市管理護岸：1護岸（七尾港）
- ★復旧完了：無し
- 市管理船溜：2船溜
- ★復旧完了：1船溜

# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (地盤高の変化)





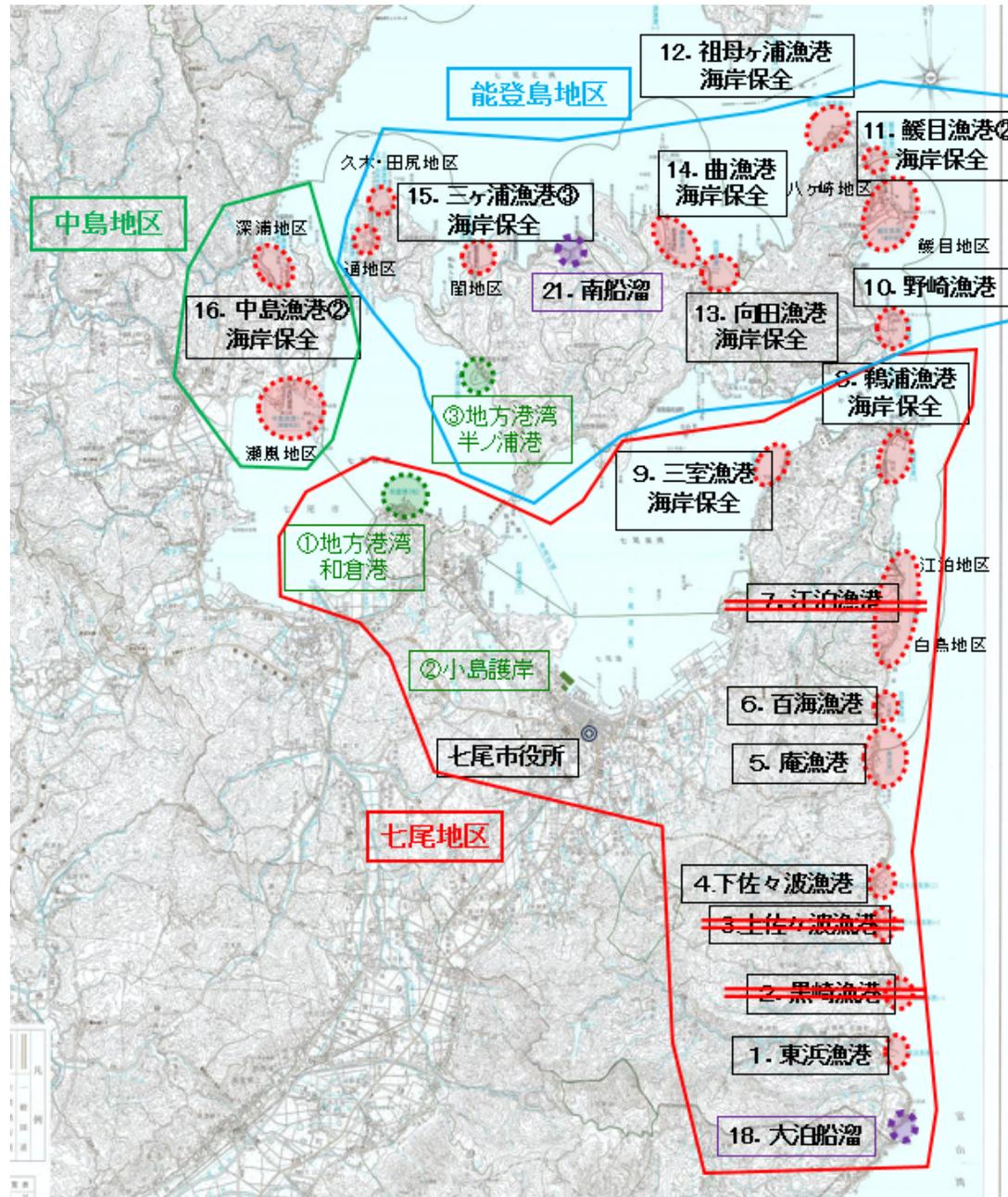
高潮による冠水



高潮による冠水

# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (港湾等の被害)



## 港湾等被害概要

### 【七尾地区】 1港、2海岸 71億5千万円

- ①港湾施設  
被災港湾数 1港  
被災施設数 2施設  
被災金額 2億6千5百万円
- ②海岸施設  
被災海岸数 1海岸  
被災施設数 5施設  
被災金額 6億9百万円
- ③国代行（災害復旧）  
被災施設数 8施設  
被災金額 28億6千7百万円
- ④国代行（高度港湾工事）  
被災施設数 1施設  
被災金額 7億6千万円
- ⑤国受託（旧民有護岸、市管理護岸）  
被災施設 護岸L=750m  
被災金額 2億6千5百万円

### 【能登島地区】 1港、1海岸 10億6千7百万円

- ①港湾施設  
被災港湾数 1港湾  
被災施設数 4施設  
被災金額 7億5千7百万円
- ②海岸施設  
被災海岸数 1海岸  
被災施設数 4施設  
被災金額 3億1千万円

# 「令和6年能登半島地震」の概要 (和倉港 被害状況)

①物揚場傾斜、水叩き沈下



②防波堤沈下



③船揚場段差、沈下



④緑地地割れ、沈下



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (半ノ港 被害状況)



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (七尾港 市管理護岸被害状況)



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (港湾施設の応急工事)

被災状況 (和倉港海岸)



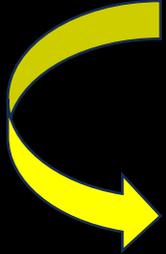
被災状況 (七尾港：小島護岸)



大型土のうによる被害拡大防止

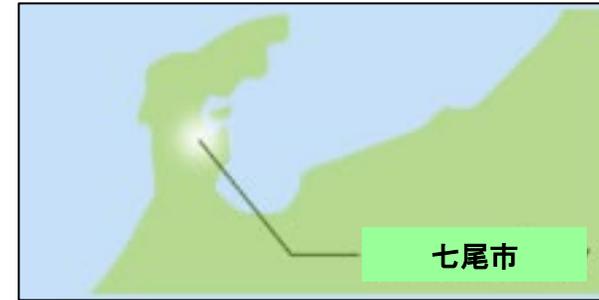
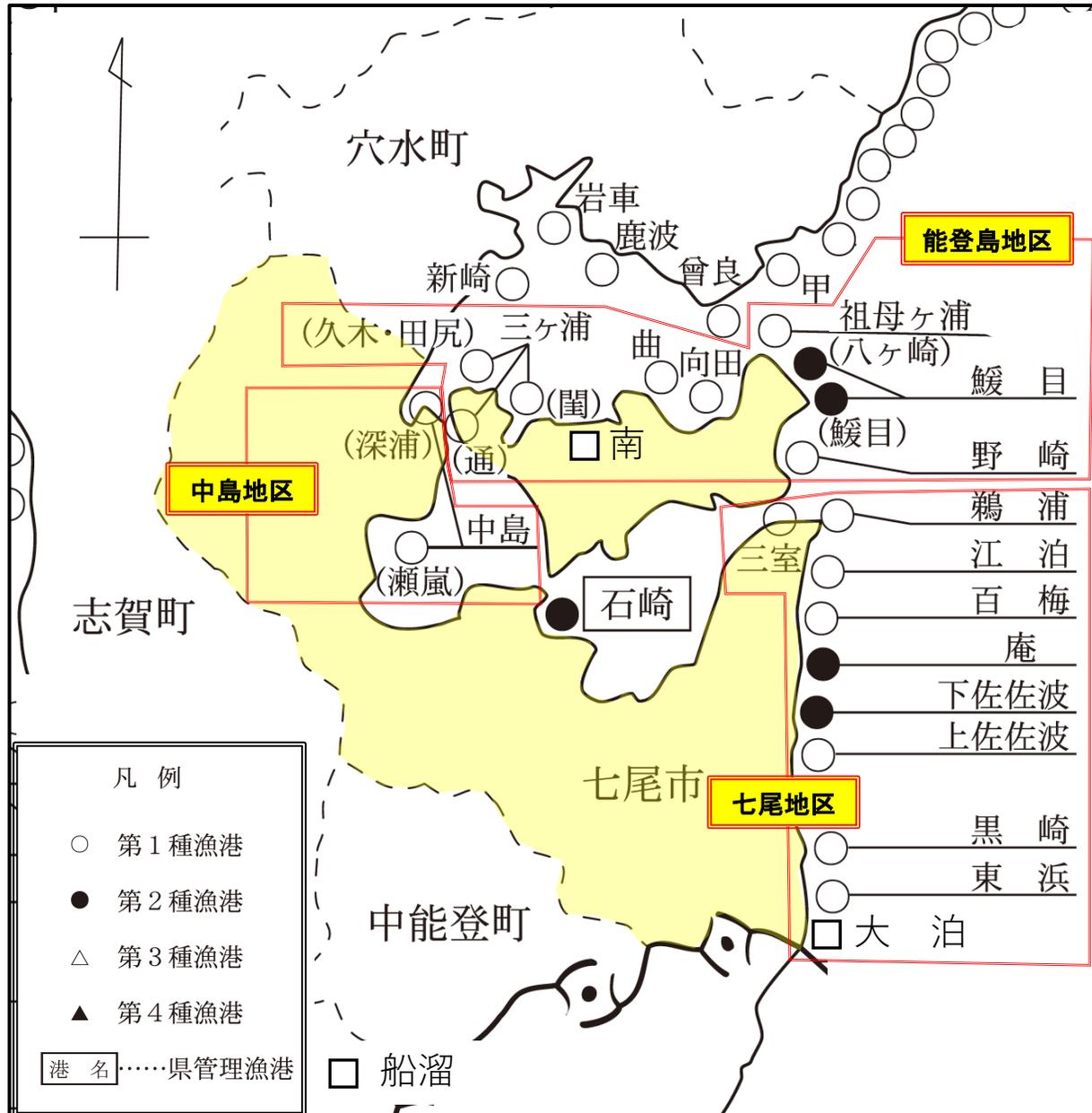


大型土のう矢板による被害拡大防止



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (漁港等の被害)



## 漁港等被害概要

### 【能登島地区】6漁港、4海岸、1船溜

- ①漁港施設
  - 被災漁港数 6漁港、1船溜
  - 被災施設数 36設
  - 被災金額 3,977百万円
- ②海岸施設
  - 被災海岸数 4地区海岸
  - 被災施設数 7施設
  - 被災金額 584百万円

### 【中島地区】1漁港、1海岸

- ①漁港施設
  - 被災漁港数 1漁港
  - 被災施設数 9施設
  - 被災金額 548百万円
- ②海岸施設
  - 被災海岸数 1地区海岸
  - 被災施設数 3施設
  - 被災金額 795百万円

### 【七尾地区】6漁港、2海岸、1船溜

- ①漁港施設
  - 被災漁港数 6漁港
  - 被災施設数 16施設
  - 被災金額 845百万円
- ②海岸施設
  - 被災海岸数 2地区海岸
  - 被災施設数 11施設
  - 被災金額 1,126百万円



被害状況（向田漁港）



応急工事完了（向田漁港）

物揚場沈下（向田漁港）

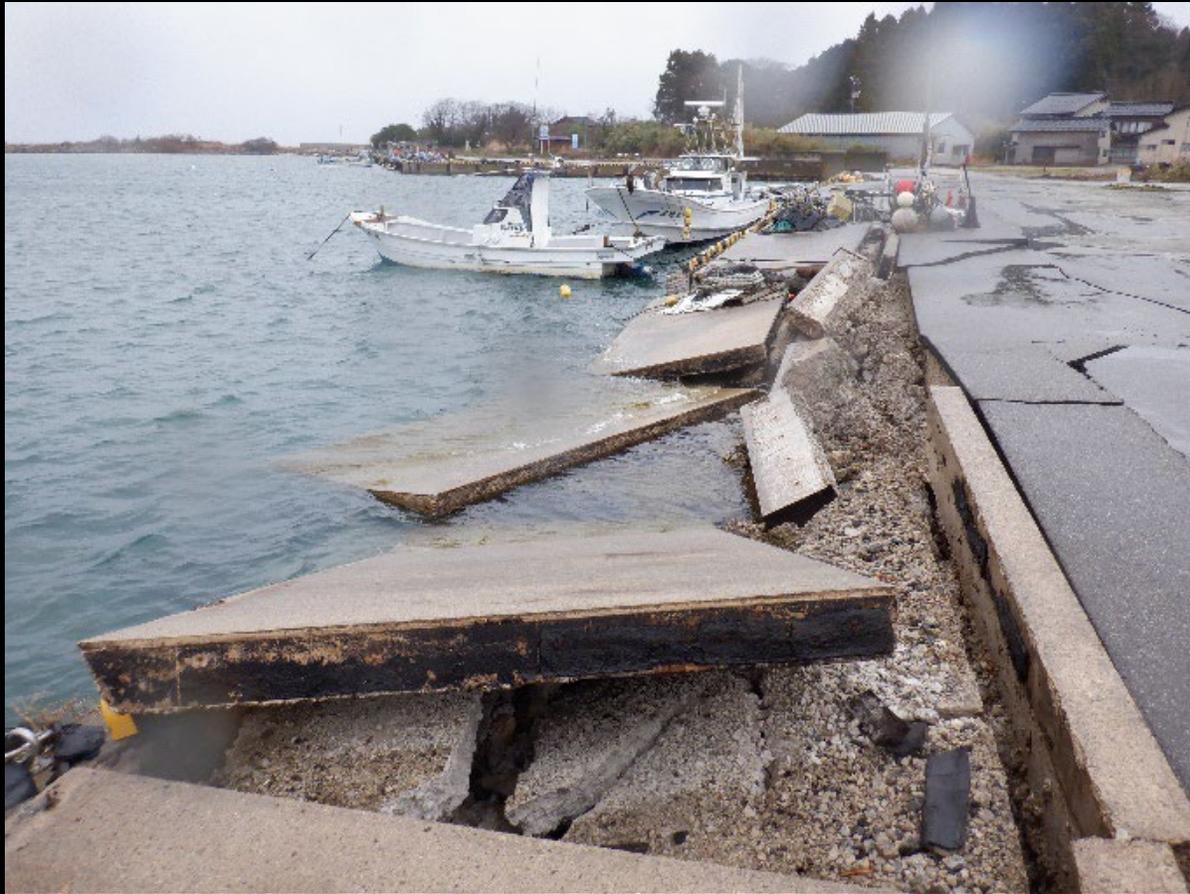


被害状況（鰯目漁港）



応急工事完了（鰯目漁港）

物揚場沈下・法線のズレ（鰯目漁港）



被害状況（野崎漁港）



応急工事完了（野崎漁港）

物揚場倒壊（野崎漁港）

# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (漁港施設：臨港道路被害)



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (漁港施設：用地被害)

用地沈下（野崎漁港）



用地沈下（中島漁港）



用地沈下（向田漁港）



用地沈下（下佐々波漁港）



先端部の1スパンが崩壊



2スパン目の一部が水没



護岸沈下 (南船留地区)

# 和倉港・海岸災害対応・復旧状況

○震災直後 国土交通省（テック・フォース）等による被害状況調査  
R6. 1. 3～19

○倒壊護岸の応急復旧（大型土のう設置） 七尾市・国・石川県  
R6. 1. 22～6. 27

○被害が甚大であり、国へ代行工事を申請・認可  
R6. 2. 1

○被災護岸の復旧方針について、関係機関と協議会を設置  
R6. 5. 13～R6. 9. 26

# 協議会のこれまでの経緯と完了目標

令和6年5月13日

第1回 護岸復旧会議

- ・護岸復旧方針作成に向けた今後の進め方の確認
- ・民有護岸の復旧方法(例)の提示



令和6年5月下旬  
～7月上旬

個別ヒアリング

- ・護岸復旧の流れ(イメージ)の提示
- ・護岸復旧方法に係る意向確認



令和6年7月23日

第2回 護岸復旧会議

- ・護岸復旧方法・留意点の提示



令和6年9月26日  
令和6年9月27日

第3回 護岸復旧会議  
護岸復旧工事の入札手続き開始

- ・護岸復旧方針のとりまとめ



令和6年12月20日

護岸の本格復旧工事の全面着工

背後にある旅館の再建と歩調を合わせつつ、  
令和8年度中を目途に可能な限り早期の完成  
を目指す。

# 和倉温泉 護岸復旧方針の概要

## 護岸復旧のポイント

### ポイント①

1日も早いなりわい再生のための  
**護岸の早期復旧・再整備**



護岸と旅館建物の復旧等を同時に進めることで、**温泉地域全体の復旧工事期間をできる限り短縮。**

### ポイント②

和倉温泉の**魅力の維持**



可能な限り護岸の高さを変えずに復旧・再整備することで、**眺望に配慮。**

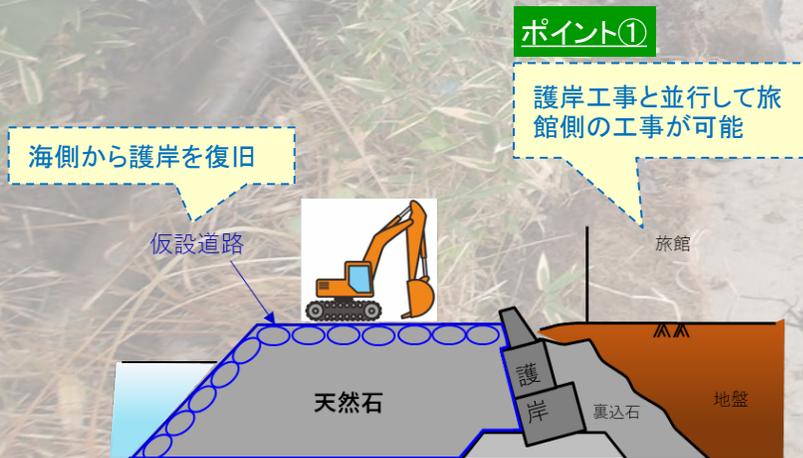
### ポイント③

周辺の**環境に配慮**

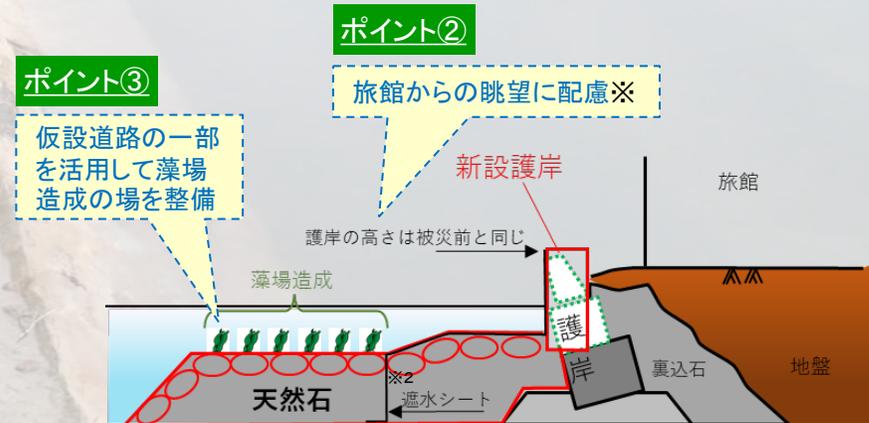


天然石を使用し、護岸を藻場造成の場として活用することで、**水産振興にも寄与。**

## 【工事中(イメージ図)】



## 【復旧等完了後(イメージ図)】

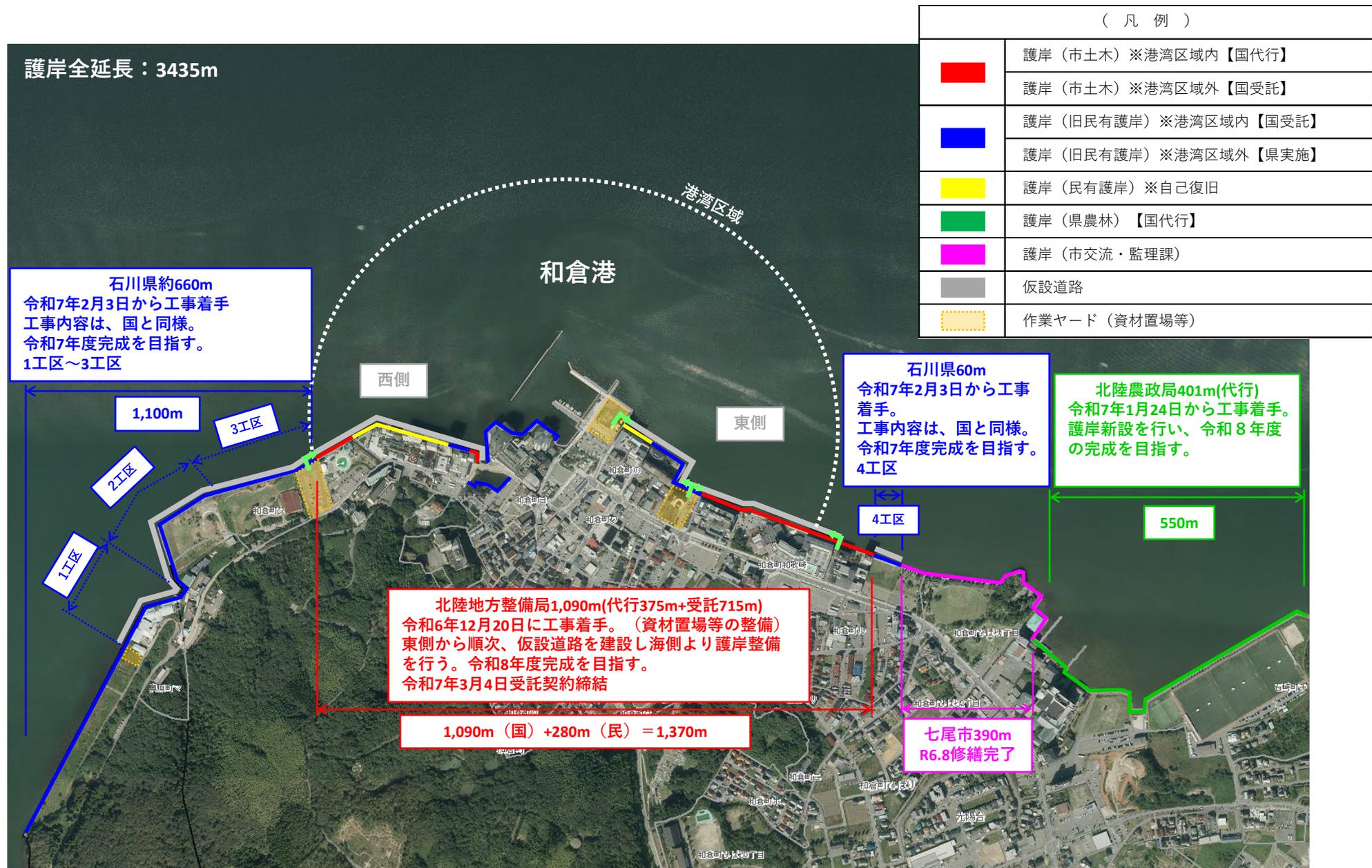


※ 護岸の海側に上図のような浅い場所を設けることで、荒天時の陸域への越波量を減少させることが可能。そのため、護岸を高くするのを避けることができることから、ポイント②の実現に寄与。

# 民有護岸の整備経緯

- 護岸復旧会議で民有護岸の取り扱いについて協議
- 国関係機関への要望（国土交通省、財務省、国会議員）  
R 6. 7. 3、R 6. 11. 27
- 内閣総理大臣、国土交通大臣・政務官等が和倉港被災視察  
R 6. 7. 1～
- 社会資本整備事業計画等を国土交通省と協議・手続き  
R 6. 11. 1～
- 民有護岸の公共帰属手続き（石川県、七尾市）  
R 6. 11. 29
- 防災・安全交付金事業、港湾メンテ事業により旧民有護岸の整備  
R 7. 1 交付申請、R 7. 2 交付決定
- 国受託工事により、旧民有護岸の整備開始  
R 7. 3. 4 契約締結

# 和倉港港湾区域内外の護岸復旧状況



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (民有護岸被害①：七尾市復旧区間)



# 「令和6年能登半島地震」の概要

# (民有護岸被害①：石川県復旧区間)

多田屋護岸



加賀屋駐車場護岸



旧都ホテル跡地護岸

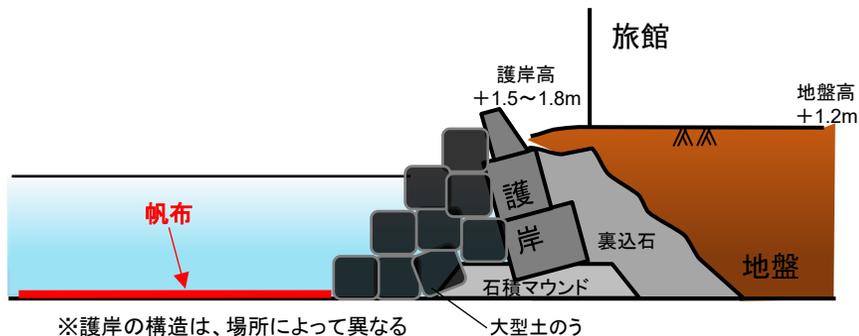


ホテル海望護岸

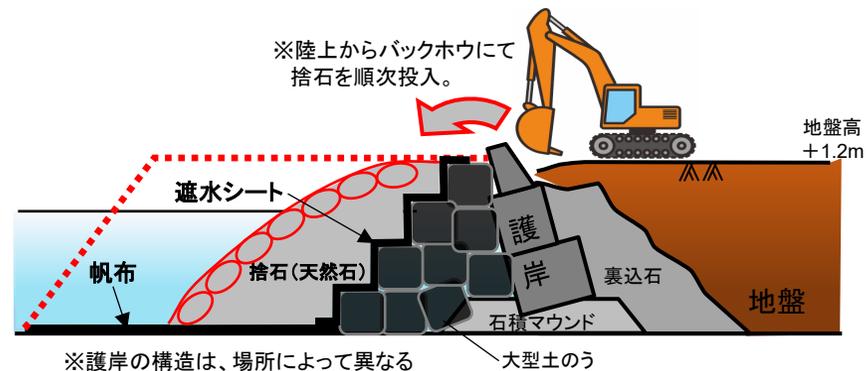


# 「令和6年能登半島地震」の概要 (和倉護岸復旧工事：仮設道路施工手順)

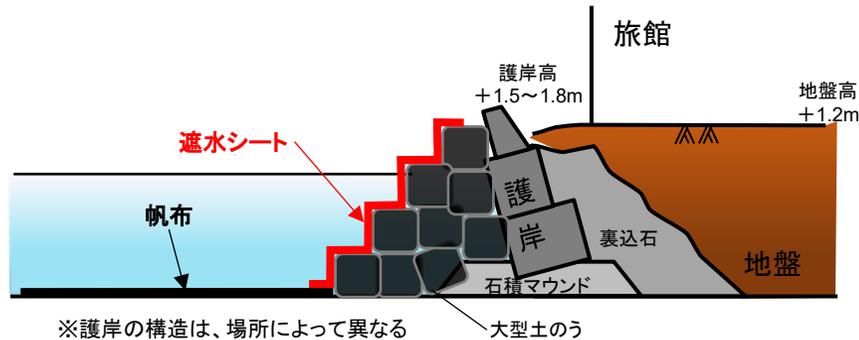
## ① 帆布敷設



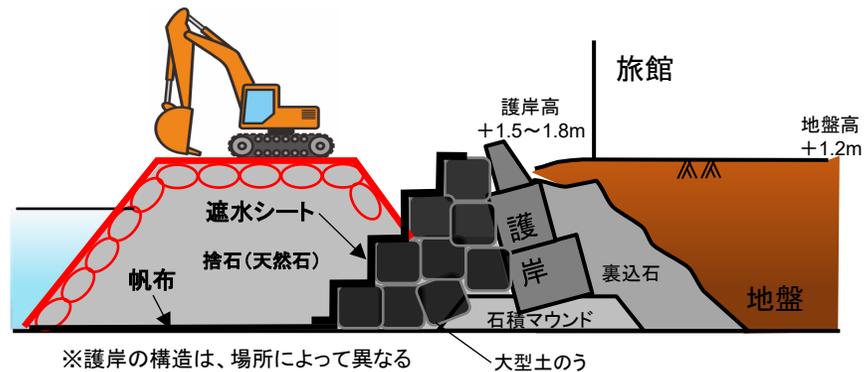
## ③ 捨石投入



## ② 遮水シート敷設



## ④ 仮設道路完成



# 「令和6年能登半島地震」の概要 (和倉護岸復旧工事：仮設道路の状況)

仮設道路と水質汚濁防止膜

- ・ R 7. 3 工事着手
- ・ R 7. 9 工事完了



# 「令和6年能登半島地震」の概要 (和倉護岸復旧工事：護岸の復旧状況)



完成した美湾荘前護岸



完成した美湾荘前護岸

# 「令和6年能登半島地震」の概要 (和倉護岸復旧工事：総理の視察)



全国の皆様から多大なるご支援を賜り、心より感謝申しあげます。  
現在、復興に向けて取り組んでいますので、能登へ来られる際は、  
ぜひ七尾市にお立ち寄りいただくと幸いです。

七尾市の市街地と七尾湾

